
机の上

真田火澄

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

机の上

【Nコード】

N3743D

【作者名】

真田火澄

【あらすじ】

自分が今やるべき事。学生のやるべき事は、定期的に訪れる期末テストをどう切り抜けるか。

なす術無く
崩れ落ちる

○机の上○

私は、

今日何が出来ただろう

私は、

今何をしているんだろう

全てが無力に見え、

全てが無慈悲に見える。

君がいて 私がいる

だからと言って、

それが永遠になる訳じゃなくて、

自分のやりたい事をやらなければ、自分が死ぬ。
そう思うんだ。

きつと、

今の私を未来の私が見たならば、
軽く鼻で笑われるだろう。

何をしているんだ と。

勇気を持って と。

今、自分のやりたい事と自分がやらなければならない事は、面白いくらいに相反している。

この机に置かれた、

黒になりかけの白い紙。

自分なりに必死だった時間を振り返り、
他人に見られないように苦笑する。

もうすぐだ。

明日、終わる。

この苦しくて、静かで、それが美しい時間だったねと言える日。
過去を振り返るのは嫌い。

だからと言って、この時間を振り返る事は嫌いじゃない。

自分の成果がわかる日まで、
己が自負している己の未熟さを改めて突き付けられるその日まで、
私はそっと伏せていよう。

暖かい布団に包まれていよう。

それが、

私が、私にとって美しい時間だったと振り返られるための準備なのだから。

ふと、横を見た。

自分で勝手にライバルだと思っているヤツが座ってる。
まだ一心不乱に紙を見ている。

「お前にだけは負けねえ…」

ポツリと呟いた。

ヤツに聞こえないくらい、小さな声で。

今、

自分を、

今日と言う地獄から解き放ってくれる
軽快な音楽が耳を通りぬけた。

— e n d —

(後書き)

学生にとって、テストは死活問題です。

自分で勝手にライバルとして見ている人がいる事もシバシバ。

そんなライバルに、

『今回は絶対負けねえ』と言ってあえなく玉砕した覚えがある作者です(笑)

あまり過去は振り返りたくないですが、

あの時は恥ずかしかったなあ……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3743d/>

机の上

2010年11月5日07時40分発行